

## I 概要

近年、少子・高齢化に伴う社会の変化によって、家族や地域社会の絆が弱まり、住民相互のつながりも希薄化するなかで、本会としては地域福祉の推進を図ることを目的とする中核的な団体として、市民の誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進し、「地域福祉活動計画」の基本理念である「一人一人が互いに尊重しあい、支えあって地域で安心して暮らせる心豊かなまちづくり」を達成するため、民生委員児童委員・ボランティア・各関係機関団体との連携を密にし、地域福祉の充実に努めました。

多久市権利擁護相談支援センターでは、知的障害、精神障害、認知症などにより判断能力が不十分な方が安心して生活が送れるような身近な相談窓口として、①成年後見制度等の利用に関する相談支援、②権利擁護サービスの提供、③権利擁護支援の普及・啓発、④他機関連携による地域見守りネットワークを推進しています。また、成年後見制度の利用促進に向け中核機関を設置、運営しています。

市内の社会福祉法人等19組織が参画している「多久市地域貢献推進協議会」では、地域と住民の福祉向上と安心・安全の地域づくりを展開するため活動を継続しています。

住居内整理整頓事業では、高齢者、障害者、生活困窮者等、住居内における衛生環境の確保が困難な方に支援を行いました。住民参加型有料在宅福祉サービス事業『わかちあいの和』では、「ちょっとした困りごと」を抱えている方に対して住民の参加と協力により地域課題の解決等を行い、更に、通院・買い物・通いの場・はつらつ教室への外出の付添と送迎の『おでかけサポート事業』を実施しています。子育て支援事業の一環としては、誕生記念絵本の贈呈、チャイルドシートの貸出しを行っています。

生活困窮者自立支援事業では、無料相談窓口の設置、一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、専門の支援員が相談者と寄り添いながら、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行っています。

また、公の施設である多久市社会福祉会館の管理運営を行い、高齢者の生きがいや社会参加のための多久市シルバー人材センター事業にも取り組んでいます。

ボランティア活動の振興については、多久市ボランティア連絡協議会の育成に努め、菜の花で明るいまちにするために「イエローマジック多久プロジェクト」を実施しています。また、ボランティア活動協力校の活動支援を行いました。

地域福祉、在宅福祉事業としては、寝たきり高齢者、重度障害者の介護者に対する介護見舞金の支給、スロープ付車輛による移送サービス、介護ベッド等の福祉機器の貸出し、認知症高齢者や知的障害者、精神障害者に対し、日常的な金銭管理や書類等の保管をする福祉サービス利用援助事業及び在宅生活サポート事業『あんしんねっと』を実施しました。

福祉の啓発事業としては、社協だより、すてっぷ、事務局通信「すまいる」を発行、ホームページ等の更新を行い、福祉に関する啓発を図りました。

居宅介護支援・訪問介護事業所として、要支援者・要介護者に対しサービス提供を行い、社協独自事業（介護保険対象外）の在宅サポート事業『さわやか』を実施しました。

共同募金事業については、地域住民、民生委員児童委員会等の理解と協力のもと10月から

1 2月まで赤い羽根共同募金活動を実施しました。

また、日赤事業については、日赤会員の募集、広報活動を実施し、2023 トルコ・シリア地震等海外への救援金受付についても取り組みました。

国内災害義援金については、佐賀県共同募金会・日本赤十字社佐賀県支部と連携しながら募金活動等を行いました。

## II 事業の実施状況

### 1 法人運営事業

#### (1) 理事会、評議員会の開催

監事会	期日・場所	内 容
	令和5年5月17日(水) 市社会福祉会館	①令和4年度事業報告及び決算について ②令和4年度佐賀県共同募金多久市支会決算について

理事会	期日・場所	内 容
	令和5年5月29日(月) 市社会福祉会館	①令和4年度事業報告の承認について ②令和4年度一般会計収入支出決算の承認について ③評議員選任・解任候補者(案)について ④令和5年度一般会計収入支出補正予算(第1次)(案)について ⑤評議員選任・解任委員会の招集について ⑥定時評議員会の招集について
	令和5年6月23日(金) 市社会福祉会館	①多久市社会福祉協議会会長の選定について ②多久市社会福祉協議会副会長の選定について ③多久市社会福祉協議会常務理事の選定について
	令和5年10月26日(木) 市社会福祉会館	①多久市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正(案)について ②令和5年度一般会計収入支出補正予算(第2次)(案)について
	令和5年12月19日(火) 市社会福祉会館	①多久市社会福祉協議会非常勤ヘルパーの雇用に関する就業規則の一部改正(案)について ②令和5年度一般会計収入支出補正予算(第3次)(案)について
	令和6年3月26日(火) 市社会福祉会館	①多久市社会福祉協議会事務局規程の一部改正(案)について ②多久市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正(案)について ③多久市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正(案)について ④令和5年度一般会計収入支出補正予算(第4次)(案)について ⑤令和6年度事業計画(案)について ⑥令和6年度一般会計収入支出予算(案)について

評議員会	期日・場所	内 容
	令和5年6月23日(金) 市社会福祉会館	①令和4年度事業報告について ②令和4年度一般会計収入支出決算の承認について ③多久市社会福祉協議会理事・監事の選任について

(2) 各種委員会の開催状況

委員会の別	期日・場所	内 容
評議員選任 解任委員会	令和5年6月8日(木) 市社会福祉会館	①多久市社会福祉協議会評議員の解任について ②多久市社会福祉協議会評議員の選任について
共同募金 運営委員会	令和5年5月29日(月) 市社会福祉会館	①令和4年度収支決算の承認について
	令和5年6月23日(金) 市社会福祉会館	①多久市支会会長の選任について ②多久市支会副会長の選任について
	令和6年3月26日(火) 市社会福祉会館	①令和6年度収支予算(案)について
福祉資金審議会	令和5年4月20日(木) 市社会福祉会館	① 貸付状況について
	令和5年9月21日(木) 市社会福祉会館	①貸付状況について
表彰審査委員会	令和5年12月19日(火) 市社会福祉会館	①令和5年度市社会福祉協議会被表彰者の審査について
長寿社会振興 事業推進委員会	令和6年2月15日(木) 市社会福祉会館	①令和6年度助成計画(案)について
シルバー人材 センター総会	令和5年5月25日(木) 市社会福祉会館	①令和4年度事業報告及び実績報告について ②令和5年度事業計画(案)について ③役員(理事)改選(案)について
シルバー人材 センター理事会	令和5年5月25日(木) 市社会福祉会館	①令和5年3月分実績報告について ②令和5年度総会について
	令和5年7月11日(火) 市社会福祉会館	①令和5年度4～6月分実績報告について ②シルバーの日及び研修会について
	令和5年11月2日(木) 市社会福祉会館	①令和5年度7～9月分実績報告について ② シルバーの日及び研修会について
	令和6年3月14日(木) 市社会福祉会館	①令和5年度10～2月分実績報告について ②令和6年度総会について ③安全適正就業対策推進委員の改選(案)について

(3) その他定例会議への出席状況

会 議 名	内 容
民生委員児童委員会（毎月上旬）	所管事項について諸調査依頼及び伝達。
民生委員児童委員会正副会長会（毎月下旬）	その他業務上必要な意見交換を行う。
地域包括ケア会議（第4木曜日）	地域包括支援課、医師、歯科医師、社協、福祉施設、介護老人保健施設等の担当者が出席し、事例検討会等を行いました。
高齢者虐待防止ネットワーク推進委員会 年2回	
支援センター会議（第2・4水曜日）	地域包括支援課、社協、天寿荘、いこいの里の担当者が出席し、在宅福祉事業についての検討会を行いました。

(4) 役職員研修会への出席状況

①市町社会福祉協議会役員（理事・監事・評議員）・職員合同研修会

・期 日 令和6年2月13日（火）

・場 所 グランドはがくれ

講演 「地域共生社会政策具現化に必要なシステムと

コミュニティソーシャルワーク機能

ー市町社会福祉協議会の位置と役割ー」

講師 （公財）テクノエイド協会理事長 大橋謙策 氏

(5) 小城・多久地区障害者相談支援センターへの職員出向

障害者総合支援法に基づき平成18年10月1日から小城市桜楽館内に開設している「小城・多久障害者相談支援センター」に相談支援業務を行う職員1名が出向しています。

相談実績：多久市（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

項目	内 容	件 数
対 象 障 害	身体	293
	重症心身	65
	知的	339
	精神	293
	発達	94
	高次脳機能	13
	その他	4
	計	1,101
相 談 内 容	福祉サービスの利用等に関する支援	745
	障害や病状の理解に関する支援	11
	健康・医療に関する支援	100
	不安の解消・情緒安定に関する支援	143
	保育・教育に関する支援	6
	家族関係・人間関係に関する支援	19

	家計・経済に関する支援	31
	生活技術に関する支援	24
	就労に関する支援	18
	社会参加・余暇活動に関する支援	2
	権利擁護に関する支援	0
	その他	2
	計	1,101

## 2 地域福祉活動事業

### (1) 長寿社会振興事業

- ①老人クラブ、身体障害者福祉協会が実施したゲートボール大会、グランドゴルフ大会など健康と生きがいづくり事業に対して助成を行いました。
- ②ボランティアに対する研修、講習その他活動の活発化に資する事業に対し助成しました。
- ③在宅で高齢者等を介護されている方に対して年1回在宅介護見舞金を支給しました。  
(支給件数118件、支給総額1,180,000円)

### ④社会福祉大会の実施

地域福祉の推進および啓発、また、社会福祉の発展に寄与された方々に対し、感謝の意を表すため、社会福祉大会を開催しました。

期 日 令和6年1月28日(日)

場 所 市中央公民館

オープニング 多久ミュージカルカンパニー & Be Flying

#### 第1部 式典

- 表彰対象 ①民生委員児童委員 1人 ②社会福祉団体役員 5人  
 ③社会福祉施設職員 1人 ④ボランティア活動 1人  
 ⑤在宅介護 1人

#### 第2部 記念講演

演題 『生涯学習を通じた地域づくりにむけて ～人と地域をつなぐ～』

講師 西九州大学・短期大学副学長 上野景三 氏

### (2) 生活困窮時食料等提供事業

生活困窮者の自立支援及び社会の一員として円滑な社会生活が送れるよう食料物資支給を行っております。令和5年度は、延べ83箇所から2,335品の食料品の提供をいただきました。内、生活に困窮されている方など延べ123人に対し2,897品の食料品を提供いたしました。

### (3) フードバトン事業

各家庭で眠っている食料を提供していただき、生活困窮時食料等提供事業の食料を確保するため、各町公民館、社協にありがとうBOXを設置しています。令和5年度は387

品の食料品の提供がありました。

(4) 多久市権利擁護相談支援事業

権利擁護支援の普及・啓発等、権利擁護の総合相談窓口として市民の権利を守ることを目的として「多久市権利擁護相談支援センター」を開設しています。知的障害や精神障害、認知症などにより判断能力が不十分な方が、地域で安心して生活が送れるように成年後見制度や福祉サービス利用援助事業などの活用について、相談対応を実施しました。

令和5年度は、相談者数22人、延べ相談件数449件でした。

(5) 要援護者等見守り支援ネットワーク事業

協力事業者が日常の中で高齢者等の見守り、安否確認、緊急事態等への対応を行い、安心して生活できるように支援する事業です。令和5年度の協力事業者は51業者で社協への通報はありませんでした。

(6) 住居内整理整頓支援事業『すっきりサポート』

高齢者、障害者、生活困窮者等、身体的・経済的・環境的な理由により、住居内の衛生環境の確保が困難な世帯に対して1件の環境整備を行いました。

(7) 緊急時要援護者見守り支援事業『まもりん』

高齢者や体の不自由な人たちに対する緊急時の迅速な対応として、医療・服薬・緊急連絡先などの情報を専用容器に入れ、家庭の冷蔵庫に掛けておくことで、緊急時に備え、見守り活動の充実を図るとともに、見守られる側のおんしんの確保につなげることを目的に実施しました。令和5年度実績は設置件数394件で多久消防署の活用はありませんでした。また、関係機関（社協、市地域包括支援課、消防、警察、民生委員児童委員、区長、医療関係者）によるネットワーク会議を開催しました。

・期 日 令和6年1月11日（水）

・場 所 市社会福祉会館

(8) 福祉有償運送事業

車椅子を使用しなければ移動が困難な方を対象として、生活圏の拡大を図ることを目的にスロープ付車両1台を運行した結果、延べ139回の利用がありました。利用料は、距離制による利用者負担です。

(9) 在宅生活サポート事業『おんしんねっと』

高齢者や障害者がより安心安全に在宅生活を送れるよう、日常的な金銭管理サービスや書類等の預かりサービス等の利用に関する手続き等の支援を行うことを目的に実施しました。利用者数は18名でした。

(10) 寝たきり老人等寝具クリーニングサービス事業

在宅寝たきり老人等の常時臥床状態で使用されている寝具類の丸洗い及び乾燥等を助成することにより、衛生改善と在宅福祉の向上を図ることを目的として、実施していますが、利用はありませんでした。

#### (11) 福祉用具等貸出事業

在宅で介護されている方、利用者の方の身体的、経済的負担の軽減を目的に福祉機器を貸出しました。貸出しの状況は次のとおりでした。

機器名	保有台数	貸出延件数
ベッド	32	32
車椅子	28	22
歩行器	3	1
チャイルドシート	8	26
ジュニアシート	6	12

#### (12) ボランティア活動の推進

##### ①災害ボランティア研修会

災害ボランティアについて認識を深め、安心・安全のまちづくりに積極的に参画することを目的として開催しました。

期 日 令和6年3月12日（火）

場 所 市社会福祉会館

講 演 演題 『地域でできる災害ボランティア活動について』

講師 大町町地域おこし協力隊災害支援担当

Public Gate 合同会社 代表 公門寛稀 氏

実 践 災害食づくり・試食、防災グッズ紹介・体験

参加者 73人

##### ②ふれあい広場の実施

共同募金運動の一環として、地域福祉の推進を目的に多久まつり会場において、イベント募金を実施しました。

期 日 令和5年10月28日（土）・29日（日）

場 所 多久駅周辺（多久まつり会場）

協力者 31人

募金額 92,839円

##### ③福祉体験学習事業、学校ボランティア育成事業

次代を担う児童、生徒に対して福祉教育、ボランティア活動の機会を提供し、他人を思いやる心や相手の立場に立って考えることのできる温かい心、社会に貢献する心を育成することを目的に実施しました。

イ) 福祉体験教室

期 日	対 象	人数	内 容
令和5年6月29日	多久市立東原席舎 中央校5年生	103	・「ふくし」ってなあに？
令和5年6月30日	多久市立東原席舎 西溪校4年生	29	・「ふくし」ってなあに？
令和5年9月1日	多久市立東原席舎 東部校7年生	36	災害から学ぼう ・佐賀豪雨災害での被災者支援 ・避難所について考えてみよう
令和5年9月5日	多久市立東原席舎 西溪校4年生	29	聴覚障害者の気持ちを知ろう ・手話体験
令和5年10月3日	多久市立東原席舎 西溪校4年生	28	視覚障害者の気持ちを知ろう ・アイマスク体験
令和5年10月5日	多久市立東原席舎 中央校5年生	68	妊婦体験を通して思いやりの心を 育てよう ・妊婦疑似体験
令和5年10月6日	多久市立東原席舎 中央校5年生	34	妊婦体験を通して思いやりの心を 育てよう ・妊婦疑似体験
令和5年12月11日	多久市立東原席舎 中央校5年生	23	高齢者の気持ちを知ろう ・高齢者疑似体験
令和5年12月12日	多久市立東原席舎 西溪校4年生	29	防災を知ろう・学ぼう・考えよう！ ・災害食づくり、試食体験
令和6年3月15日	多久高校1年生	18	高齢者の気持ちを知ろう ・高齢者疑似体験

ロ) 学校ボランティア育成事業協力校に対して1校50,000円を助成しました。

学校名	活 動 内 容
東原席舎西溪校 (前期・後期課程)	春秋の釈菜への参加、釈菜に向けての花育てや陳列、地域清掃活動、募金活動（白い羽根、赤い羽根）、ボランティア活動の写真撮影、花いっぱい運動、エコキャップ回収、清掃用具点検活動
東原席舎中央校 (前期課程)	花いっぱい運動、国際理解講座、新入生を花で迎える活動、卒業式を花で飾る活動
東原席舎中央校 (後期課程)	クリーン活動（学校・駅・駐車場周辺の清掃）、24時間テレビチャリティー募金活動、専門委員会、校内美化



東原庁舎東部校 (前期課程)	花壇づくり、芋苗植え・芋収穫体験、そば刈り・そば打ち、田植え・稲刈り体験、ビワ袋掛け・収穫、東多久駅チューリップの球根植え、緩和ケア病棟へのスマイルカード作り、低学年クリーン作戦、ありがとう集会、独居老人へのお便り（暑中見舞い状・年賀状）募金活動（赤い羽根他）、アルミ缶回収、認知症キッズサポーター、学校新聞・PTA新聞の発行、校内花いっぱい運動
東原庁舎東部校 (後期課程)	独居老人へのお便り（暑中見舞い状・年賀状）、美化活動、佐賀県医療センター緩和ケア病棟訪問、スマイルカード作成、募金啓発ポスター作成、活動報告会、朝のあいさつ運動、募金活動（赤い羽根他）、校内美化活動、アルミ缶収集
多久高校	学校周辺清掃活動、募金活動（白い羽根、海外たすけあい、能登半島地震）、開校記念遠足清掃活動（多久聖廟）、多久聖廟周辺合同美化活動、多久まつりボランティア、多久こども食堂・認知症予防カフェ、多久市児童センターあじさいボランティア（夏祭り、スマイルフェスタ、文化祭）、献血活動、佐賀県青少年赤十字定例会参加、佐賀県青少年赤十字トレーニングセンター参加、24時間テレビチャリティー募金、高校生介護技術コンテスト、「介護の日」記念イベント参加、アルミ資源回収、小切手収集、ペットボトルキャップ回収、校内美化活動、認知症サポーター養成講座（義務教育学校前期課程出前授業）、ふくしの種まきプロジェクト

#### ④ボランティアの集い

多久市内でボランティア活動に参加している人、またこれから活動しようとする人を対象に、日頃の活動と課題や今後の取り組みについて研修し、明日への活動へと繋いでいくことを目的に開催しました。

期 日 令和6年2月18日（日）

場 所 市社会福祉会館

講 演 演題 『ボランティア＝素晴らしいは誤解かも』

講師 葉隠自然塾

塾頭 吉永雅紀 氏

参加者 57人

#### ⑤24時間テレビチャリティー募金活動

毎年多くの市民の皆様よりご協力を頂いております「24時間テレビチャリティー街頭募金」を実施しました。

期 日 令和5年8月27日（日）

場 所 セブンイレブン東多久店、HI ヒロセスーパーコンボ多久店  
ファミリーマート佐賀多久南店  
募金額 154,205円  
協力者 67人

⑥イエローマジック多久プロジェクト

市内15のボランティア団体で組織する多久市ボランティア連絡協議会と連携し、約50キログラムの菜の花の種をまき、黄色い花を咲かせ、明るいまちにするために地域まちづくりの推進に取り組みました。各団体が手分けして JR 東多久駅の北側や JR 中多久駅周辺の唐津線沿線など市内10か所にまきました。

(13) 子育て支援事業

新生児への誕生記念品（絵本）贈呈 91件

(14) 鬼子母神祭の実施

児童の健全育成と安全祈願のため多久市仏教会の協力を得て実施しました。

期 日 令和5年10月20日（金）

場 所 市社会福祉会館

(15) 住民参加型有料在宅サービス事業『わかちあいの和』

「ちょっとした困りごと」を抱えている方に対して、公的サービスだけでは賅いきれない地域の福祉ニーズを、住民の参加と協力により地域課題の解決や在宅福祉の充実と住民の福祉活動の参加意識の向上に資することを目的として実施しました。

①利用会員80名 ②協力会員42名 ③利用件数348件

(16) おでかけサポート事業

介護保険の被保険者が要介護状態等となることを予防し、社会に参加しつつ地域において自立した日常生活を営むことができることを目的に、行政と連携し有償ボランティアによる通院・買い物等の外出の付添と送迎を実施しました。利用件数728件の内37件は通いの場とはつらつ教室の送迎となっています。

①利用会員90名 ②協力会員24名 ③利用件数728件

(17) 相談事業

市民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言、援助を行い、市民福祉の向上を図ることを目的として多久市民生委員児童委員連絡協議会、多久市身体障害者福祉協会の協力を得て、「心配ごと相談」と「身障相談」を実施しました。

令和5年度は、「身障相談」9件、「心配ごと相談」はありませんでした。

(18) 啓発事業

社協活動を市民の皆さんに広く知ってもらうために機会を捉えて事業の紹介や「社協だより（年3回）」、多久市生活自立支援センターだより「すてっぷ」、事務局通信「すまいる」を発行し、県内関係機関に情報発信しています。また、ホームページ等も常時更新しました。

(19) 実習生の受け入れ

令和5年度は、8月16日（水）～9月19日（火）の日程で、西九州大学から1名の社会福祉士の実習生を受け入れました。

(20) 福祉関係団体等への助成

①福祉関係団体等を育成援助するため次の団体に対し、活動費を助成しました。

団 体 名	1 団体の助成額（円）
市身体障害者福祉協会、市老人クラブ連合会	37,000
市保護司会、市手をつなぐ育成会	32,000
市福祉関係団体連絡協議会	30,000
市老人クラブ連合会（舞踊）、市老人福祉囲碁クラブ、市ゲートボール協会	20,000
市保育協議会	40,000
市子どもクラブ連合会（子ども大会）	5,000

(21) 民生委員児童委員活動への協力

多久市民生委員児童委員連絡協議会が実施する研修、その他の活動推進に協力し、連携して地域福祉活動の推進に努めました。

①多久市民生委員児童委員連絡協議会への助成（369,600円）

②民生委員児童委員研修の実施協力

③民生委員児童委員活動との連携

(22) 福祉資金貸付事業

一般の金融機関、その他からの融資を受けることが困難な世帯に対し、生活上一次的に緊急な小額の資金を必要とする場合の貸付事業を行っていますが、本年度の実績は8件でした。

(23) 災害見舞金支給事業

令和5年度は、火事（全焼）で罹災された1世帯に対して見舞金を支給しました。

3 シルバー人材センター事業

高齢者の生きがい事業として事業展開しました。会員と受注状況は次のとおりです。

①会員の状況

区分	60歳未満	61歳から 64歳まで	65歳から 69歳まで	70歳から 74歳まで	75歳から 79歳まで	80歳以上	計
人数	0	0	8	20	27	12	67

②職群別受注状況

区分	仕事内容	件数		契約金額（円）	
		4年度	5年度	4年度	5年度
技能群	大工、左官、植木の剪定	478	438	11,257,063	9,912,714
一般作業群	屋内外清掃、除草、草刈、 農作業、消毒	1,076	1,092	25,027,795	25,709,834
折衝外交群	ポスティング（4年度）、店 舗看板の写真撮影（5年度）	1	1	54,000	2,540
計		1,555	1,531	36,338,858	35,625,088

4 受託事業

(1) 社会福祉会館の管理運営

多久市「公の施設」の指定管理者として、社会福祉会館の管理運営に努めました。

(2) 生活困窮者自立支援事業

福祉事務所設置自治体が実施主体となって、生活困窮者の地域における支援体制を構築し、自立相談支援事業、住居確保給付金の支給、家計改善支援事業、就労準備支援事業を実施することとし、多久市社会福祉協議会が受託しています。無料相談窓口を設置し、一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、専門の支援員が相談者と寄り添いながら、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行いました。

①新規自立相談件数

年度	合計	東多久	南多久	多久	西多久	北多久	市外	不明
4年度	72	19	9	6	0	35	0	3
5年度	82	13	8	7	5	42	2	5

①-②新規自立プラン策定件数

年度	合計	東多久	南多久	多久	西多久	北多久	市外
4年度	4	2	1	0	0	1	0
5年度	7	1	0	1	0	5	0

①-③新規家計改善支援決定件数

年度	合計	東多久	南多久	多久	西多久	北多久	市外	不明
4年度	1	0	0	0	0	1	0	0
5年度	2	0	0	0	0	2	0	0

①－④新規家計改善プラン策定件数

年度	合計	東多久	南多久	多久	西多久	北多久	市外
4年度	1	0	0	0	0	1	0
5年度	2	0	0	0	0	2	0

⑤就労準備支援者数（継続者を含む）

年度	合計	東多久	南多久	多久	西多久	北多久	市外
4年度	4	2	0	0	0	2	0
5年度	3	2	0	0	0	1	0

①－⑥新規就労準備プラン策定件数

年度	合計	東多久	南多久	多久	西多久	北多久	市外
4年度	1	1	0	0	0	0	0
5年度	1	0	0	0	0	1	0

(3) 中核機関の設置運営

成年後見制度の利用促進に向け、広報、啓発、相談及び利用支援などを行う中核機関を令和5年1月に設置し運営しています。なお、この事業は多久市権利擁護相談支援事業の一部として取り組んでいます。

(4) 障害児交流事業

在宅の障害児とその家族のふれあい、家族同士のつながりを深めることを目的にピザ作りを実施しました。

期 日 令和6年3月10日（日）

場 所 納所交流センター

参加者 24人

(5) 地域住民グループ支援事業（地域ふれあいネットワーク運動推進事業）

見守りが必要な一人暮らし高齢者等を対象に民生委員や地域の住民を連絡員として安否確認を行う組織づくりを進めるため活動推進費を民生委員が担当する69の地域に対し継続して助成しました。

助成額は2,200,860円です。

	該当高齢者数（人）	連絡員数（人）	延べ訪問数（回）
東多久町	136	93	5,336
南多久町	47	32	1,850
多久町	97	64	3,858
西多久町	31	31	926
北多久町	290	153	7,802
計	601	373	19,772

(6) ふれあいいいきサロン事業

地域住民が自主的に集い、相互扶助のもと、心身共に健康で生きがいのある豊かな生活の実現を目指すことを目的としてサロン活動の支援・助成金の交付を実施しました。

助成金交付対象サロンは、53サロンでした。

(7) 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）『あんしんサポート』

判断能力が十分でないため日常生活を営むことに支障がある方の福祉サービスの利用に関する相談、助言、費用の支払い等の援助を目的とする福祉サービス利用援助事業を生活支援員4人体制で関係諸機関と連携し、事業の普及、啓発に努めました。

利用者数は10名でした。

(8) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、高齢者世帯等を対象に経済的自立と生活意欲の助長並びに在宅福祉と社会参加の促進を図り、安定した生活を送られるよう支援することを目的に事業を実施しました。

①緊急小口資金貸付事業（佐賀県社会福祉協議会）

本年度の貸付は、2件ありました。

(9) フォローアップ支援事業

新型コロナウイルスが蔓延した令和4年度までの特例貸付（緊急小口資金及び総合支援資金）の償還開始に伴う、生活苦による償還免除、償還猶予や償還減額（償還月額の減額）の手続き相談、生活状況など個別に対応しました。

令和5年度は、償還免除9件、償還猶予5件、償還減額1件でした。

5 居宅介護等事業

利用者が可能な限りその居宅において日常生活ができるよう運営規程に基づきサービスを提供し、運営にあたっては保険者、地域包括支援センター等の関係諸機関と連携しながら在宅福祉の充実のため次の事業に取り組みました。

(1) 日常生活管理指導員派遣事業

おおむね65歳以上の高齢者を対象に家事等に関する支援、指導を行う事業ですが、本年度の利用は、延べ41件でした。

(2) 居宅介護支援事業、訪問介護事業

介護支援専門員3人、常勤訪問介護員2人、非常勤訪問介護員9人で実施した結果は次のとおり利用がありました。

①居宅介護支援事業 延1,068人 ②訪問介護事業 延175人

③介護予防訪問介護事業 延255人 ④介護予防サービス計画作成業務 延433人

⑤障害福祉サービス事業 延62人 ⑥移動支援 延18人 ⑦同行援護 延20人

(3) 社協独自事業「在宅サポート事業『さわやか』」 延33件

(4) 多久市地域包括支援センターへの職員出向

職員2名が出向し、居宅で日常生活が行えるように、在宅福祉の充実に努めました。

## 6 その他の活動

(1) 福祉バスの運行管理

年間の利用は67回あり運行管理に努めました。

(2) 共同募金、歳末たすけあい募金運動への協力

区 分		募金実績額 (円)	備 考
共 同 募 金	戸別募金	2,040,500	一世帯350円
	法人募金	300,086	市内事業所
	学校募金	66,779	市内保育園・こども園、義務教育学校
	職域募金	493,952	市内団体・事業所等(資材募金、募金)
	イベント 募金	92,839	ふれあい広場(多久まつり)
	そ の 他	48,448	個人、募金箱、自動販売機
	計	3,042,604	
歳 末	篤志募金	96,209	国際ソロプチミスト佐賀中部、グラウンドゴルフ協会、東原庫舎西溪校ほか

(3) 歳末たすけあい募金の配分(社協財源と併せて支出)

区 分	配分件数	配分額 (円)
日用品贈呈	16	219,915
クリスマスケーキ	51	

(4) 日本赤十字社会費への協力

区分	件数	会費 (円)
戸別	5,830	3,206,500
個人、自動販売機他		23,010

(5) 佐野常民生誕200年記念 九州八県赤十字大会

期 日 令和5年11月16日(木)

場 所 SAGAアリーナ

参加者 21名

(6) 関係団体事務

- ①佐賀県共同募金会多久市支会
- ②日赤佐賀県支部多久市地区
- ③多久市民生委員児童委員連絡協議会
- ④多久市ボランティア連絡協議会
- ⑤多久市福祉関係団体連絡協議会
- ⑥多久市地域貢献推進協議会